

令和7(2025)年度  
一宮研伸大学大学院  
看護学研究科  
修士課程

# 学生募集 要項



学校法人 研伸学園  
一宮研伸大学大学院

### 【アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）】

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの目標・内容を踏まえ、以下の基本的知識、関心や態度を身に付けている者を受け入れる。

1. 倫理的配慮を踏まえた看護実践の基礎を身につけている人
2. 保健医療チームの一員として、多職種と連携して協働することができる人
3. 看護職として社会貢献を志し、主体的に生涯学習に取り組む意欲のある人
4. 保健医療に関する問題意識を有し、看護研究に取り組む意欲のある人

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）】

本研究科では、所定の単位を修得し、修士論文の論文審査および最終試験に合格し、以下の能力を身につけた者に対して修士（看護学）の学位を授与する。

1. 人間としての尊厳と権利を尊重した倫理観に基づき、看護学の幅広い知識と科学的根拠に裏付けされた看護を実践する能力を有する
2. 保健医療チームの一員として多職種と連携・協働し、リーダーシップを発揮する能力を有する
3. ヘルスケアシステムの変革に対応し、組織を管理運営できるマネジメント能力を有する
4. 地域や臨床現場が抱える、多様な看護実践上の課題解決に向けた研究能力を有する
5. 看護専門職を育てる教育的志向を有し、看護学の発展に寄与できる教育能力を有する

### 【カリキュラム・ポリシー（カリキュラム編成方針）】

本研究科は、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針でカリキュラムを編成する。

#### 〈教育課程編成方針〉

すべての専門性の基礎となる共通科目を1年次に配置し、あわせて各専門分野・領域の専門性を向上させるための専門科目を1年次に配置する。それらを修得しながら専門性をさらに探究する研究科目を1年次後期から2年次に配置する。

専門科目は、“地域創成ケアシステム”と“地域生活創成看護”の2分野で構成する。“地域創成ケアシステム”分野は、「看護マネジメント学」「看護科学」の2領域からなり、“地域生活創成看護”分野は「次世代育成看護学」「急性・療養生活支援看護学」「メンタルヘルス支援看護学」「がん療養生活支援看護学」の4領域からなる。各領域に「特論Ⅰ～Ⅱ」「演習」を配置する。

1. 地域社会の多様なヘルスケアニーズに応じて、倫理観や科学的根拠に基づく看護実践をするための知識を構築する科目として「看護倫理」「死生学」「看護理論」「フィジカルアセスメント」各領域の「特論Ⅰ～Ⅱ」「演習」などを配置する
2. 保健医療チームの一員として多職種と連携・協働し、リーダーシップを発揮する際に必要な知識やスキルを身に付ける科目として「地域創成ケアシステム論」「コンサルテーション論」などを配置する
3. ヘルスケアシステムの変革を理解し、必要とされるマネジメント能力を培うための科目として「看護管理論」「看護マネジメント学特論Ⅰ～Ⅱ」などを配置する
4. 地域や臨床現場が抱える多様な課題を的確に把握し、課題解決に結びつく研究能力を培う科目として「看護研究法Ⅰ～Ⅱ」「医療英語特論」「看護学特別研究」を配置する
5. 看護専門職の後進育成のため、学習者のニーズにあった教育方法や教育的関わりに必要な科目として「看護教育論」「看護科学特論Ⅰ～Ⅱ」などを配置する

#### 〈実施方針〉

各授業科目にはアクティブラーニングやシミュレーション教育、地域でのフィールドワークを積極的に導入する。

#### 〈評価方針〉

学修成果は、到達目標・評価方法等を事前にシラバスに明示し、定期試験や課題レポート、プレゼンテーションの内容等により総合的に評価・判断する。

## 目 次

令和7(2025)年度 入学定員及び入試日程一覧	3
入学定員・出願資格	4
出願書類・出願手続	6
出願資格審査	10
入学者選抜	11
合格発表・入学手続	12
学納金の納入	13
領域の概要及び研究指導者連絡先	14
各種様式	
試験会場のご案内	

## 個人情報の取り扱いについて

入学出願書類等の個人情報については、「学校法人研伸学園個人情報保護に関する規程」を遵守し、次のとおり取り扱います。

- ①出願書類等に記載された個人情報（氏名・性別・生年月日・住所・電話番号等）は、本学の入学試験実施と入学手続等においてのみ利用し、責任をもって管理・保管します。
- ②個人情報の一部又は全部を個人が特定できない形に加工したうえで、本学における入学者選抜に関する調査及び広報活動等の業務に利用する場合があります。

※ 本学における上記の個人情報に関する取り扱いについて、本学への出願書類到着をもって、当該志願者の同意を得たものとみなしますのでご了承ください。

# 令和7(2025)年度 入学定員及び入試日程一覧

選抜時期	1期選抜	2期選抜	3期選抜
入試区分 (各期共通)	一般選抜 社会人選抜 社会人特別選抜 推薦選抜	一般選抜 社会人選抜 社会人特別選抜	
入学定員	一般選抜・社会人選抜・社会人特別選抜 計5名 推薦選抜 1名		
選抜方法	一般選抜	： 専門科目・小論文・面接	
	社会人選抜	： 専門科目・小論文・面接	
	社会人特別選抜	： 小論文・面接	
	推薦選抜：小論文・面接		
出願資格審査 受付期間 (p.5出願資格9)の 出願者のみ)	令和6年8月5日(月)	令和6年11月1日(金)	令和7年1月14日(火)
	令和6年8月22日(木)	令和6年11月8日(金)	令和7年1月22日(水)
出願期間	令和6年9月10日(火)	令和6年11月25日(月)	令和7年2月7日(金)
	令和6年9月20日(金)	令和6年12月9日(月)	令和7年2月20日(木)
試験日	令和6年9月28日(土)	令和6年12月14日(土)	令和7年3月1日(土)
合格発表	令和6年10月4日(金) 10:00	令和6年12月19日(木) 10:00	令和7年3月6日(木) 10:00
学納金納入期限	令和6年10月11日(金)	令和6年12月26日(木)	令和7年3月13日(木)

## ■手続についての注意事項

- ・書類を持参する場合は、月～金曜日(祝日を除く)9:00～16:00に、事務局入試広報室へ提出してください。
- ・出願期間最終日に発送する場合は、郵便局窓口にて「引受消印」を押してもらうよう、申し出てください。

# 入学定員・出願資格

## 1. 教育研究分野・領域及び入学定員

分野	領域	入学定員
地域創成ケアシステム	看護マネジメント学	6名
	看護科学	
地域生活創成看護	次世代育成看護学	
	急性・療養生活支援看護学	
	メンタルヘルス支援看護学	
	がん療養生活支援看護学（がん看護 CNS を含む）	

## 2. 出願資格

選抜区分	出願資格の概要	入学定員
一般選抜	出願資格1)～10)のいずれかに該当し、かつ入学時に日本の看護師資格を有する者	計5名
社会人選抜	一般選抜の出願資格を満たし、かつ医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業などの職員として勤務しており、入学後もその身分を保持し、在職のまま就学する予定の者	
社会人特別選抜	社会人選抜の出願資格を満たし、かつ出願に際し所属機関の長（病院長等）から大学院の受験及び在職のまま就学することについて推薦を得た者	
推薦選抜	① 一宮研伸大学看護学部にて在学し、令和7年3月31日までに卒業見込みの者 ② 本学在学中3年次後期までの通算成績GPAが2.8以上の者 ③ 専門領域の教授又は准教授より推薦がある者 ④ 合格後は入学を確約できる者	1名

## 【出願資格】

次の1)～10)のいずれかに該当し、かつ入学時に日本の看護師資格を有する者

- 1) 大学を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- 2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- 3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- 4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- 5) 文部科学大臣指定外国大学日本校を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- 6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- 7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- 8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- 9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学し、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- 10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者及び令和7年3月31日までに22歳に達する者

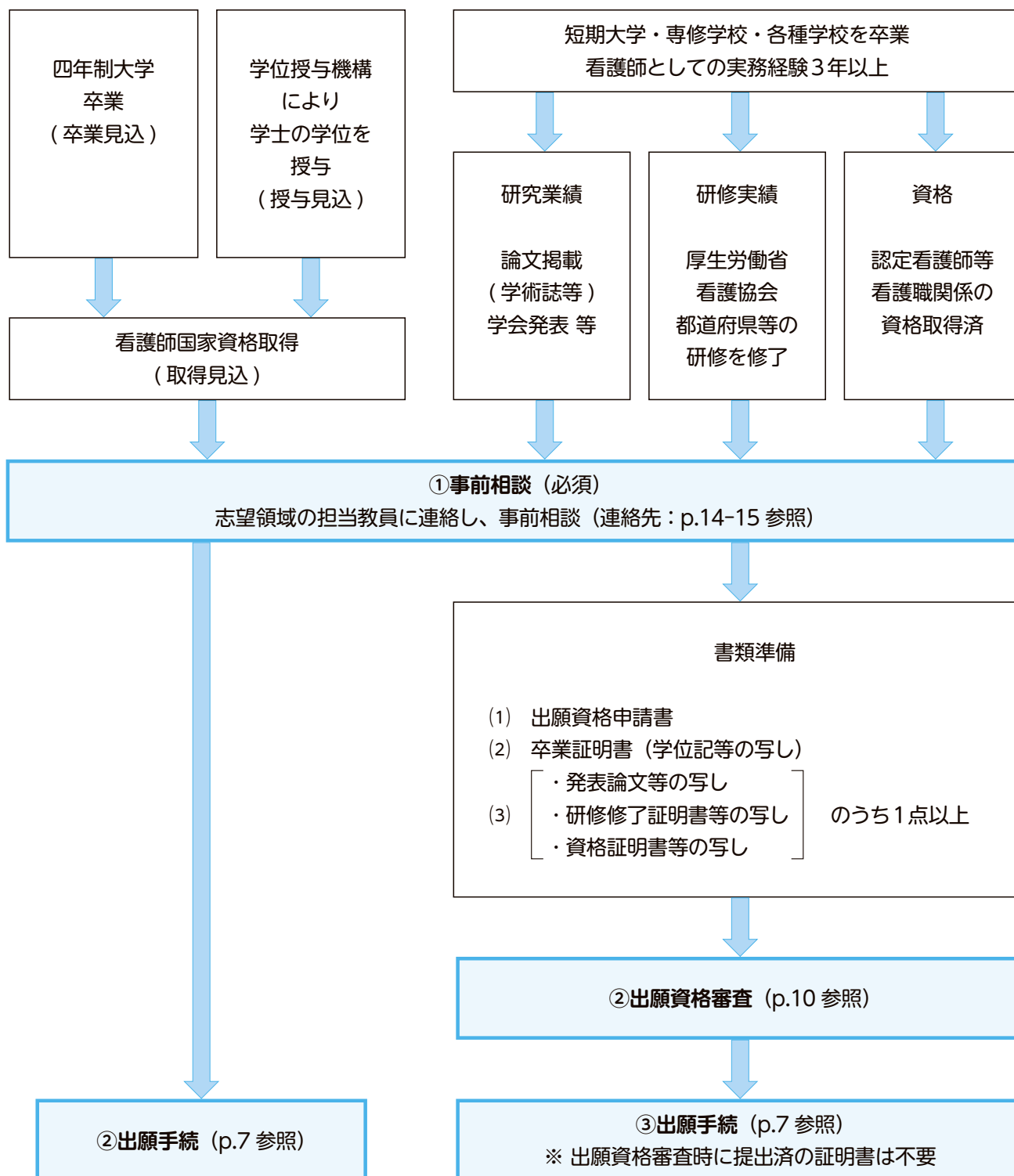
※ がん看護 CNS（専門看護師）の資格取得を希望する場合、入学時に3年相当以上の専門領域の実務経験を有している必要があります。

※ 出願資格9)により出願する者は、出願に先立ち「出願資格審査」を受け、「出願資格認定書」を提出する必要があります。

※ 外国人留学生等の場合は、日本語能力試験N2レベル以上を求めます（授業は日本語で行います）。

# 出願資格・出願手続

## 1. 出願資格・出願手続確認フローチャート



※ 提出書類・手続等についての詳細は、p.7以降を参照してください。



## 2. 出願書類

出願書類の種類	提出書類及び作成要領	
① 入学志願票・ 受験票・写真票 (様式 1)	付属の振込用紙で検定料を支払い、裏面に B 票を貼付のうえ、様式 1 に必要事項を記入してください。 写真 2 枚 (タテ 4cm × ヨコ 3cm、3 ヶ月以内に撮影、正面、無帽) を用意し、裏面に氏名を記入のうえ、入学志願票及び受験票に貼付してください。	
② 履歴書 (様式 2)	本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。	
③ 志望理由書 (様式 3)		
④ 証明書  ※選抜区分・出願資格によって、必要書類が異なります	出願資格 1) の場合 (A 及び B)	A 大学の卒業証明書 (学位記の写し (A4 判) でも可) 又は卒業見込み証明書 B 成績証明書
	出願資格 2) の場合 (ア又はイ)	ア 既に学位授与機構から学位を授与された者： 学位授与証明書及び学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書 イ 既に学位授与機構に対して認定修了を申請している者：学位授与申請受理証明書及び学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書
	出願資格 3) ~ 7) の場合 (A 及び B)	A 最終教育機関の修了証明書 / 卒業証明書 (学位記等の写し (A4 判) でも可) 又は修了見込み証明書 / 卒業見込み証明書 B 成績証明書
	出願資格 8) の場合	入試広報室へお問い合わせください
	出願資格 9) の場合	出願資格審査後に受領した出願資格認定書の写し
	本学園卒業生で最終学歴が他学の場合	大雄会一宮看護専門学校又は愛知さわかみ看護短期大学の卒業証明書 (卒業証書又は学位記の写し (A4 判) でも可)
	推薦選抜の場合	大学の卒業見込み証明書及び成績証明書
⑤ 看護師免許の写し	A4 判に縮小してください。看護師国家試験受験予定者は提出不要です。	
⑥ 受験・就学承諾書 (様式 4)	社会人選抜又は社会人特別選抜により受験する場合は、付属の様式 4 を用いて所属機関の長に作成を依頼し、提出してください。	
⑦ 推薦書 (様式 5 の 1・2)	社会人特別選抜又は推薦選抜により受験する場合は、本学ホームページから様式をダウンロードし、専門領域の教授又は准教授、あるいは所属機関の長に作成を依頼し、提出してください。	
⑧ 受験票返信用切手	定形郵便物 + 速達料金の切手を同封してください。(令和 7 年秋に郵便料金改定予定)	

※ 様式への記載には、温度変化等で消えないボールペン等を使用してください。

※ 様式 2・3・5 は、本学ホームページからダウンロードし、作成・印刷して提出してください。

※ 証明書等と現在の氏名や性別が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。

※ 出願資格審査受審時に本学へ提出済の証明書については、再度提出する必要はありません。

※ 出願書類に不備がある場合は、受付後であってもこれを受理しません。

※ 出願書類に虚偽の記載がある場合は、出願許可の後でもこれを取り消します。

※ 提出した書類は、いかなる事由があっても返還しません。





### 3. 出願期間

出願書類を一括して、出願期間内に速達簡易書留郵便にて郵送又は本学事務局窓口へ持参してください。

選抜時期	出 願 期 間
1期	令和6年 9月10日(火)～令和6年 9月20日(金)
2期	令和6年11月25日(月)～令和6年12月 9日(月)
3期	令和7年 2月 7日(金)～令和7年 2月20日(木)

- ※ 出願期間内に出願を完了しない場合は、受験する権利を失います。
- ※ 一度納付した検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ※ 出願期間最終日に発送する場合は、郵便局窓口にて「引受消印」を押してもらおうよう、申し出てください。

### 4. 入学検定料

30,000円

- ・ 付属の振込用紙に必要事項を記載し、検定料を添えて金融機関窓口（ATMは不可）で納付してください。納付した際に受け取ったB票・C票のうちB票を、様式1「入学志願票」の裏面にはがれないように貼付してください。
- ・ インターネットバンキングにて振り込む場合は、振込人の名義（受験者本人、フリガナ）および振込日が確認できる画面の印刷物を添付し、様式1「入学志願表」の裏面に「別紙」と記入してください。
- ・ 一度納付された検定料は、いかなる事由があっても返還しません。
- ・ 本学事務局窓口で検定料の納付はできません。

### 5. 出願に際しての事前相談

出願を希望する方は、出願前に必ず志望する領域の担当教員に連絡をとり、入学後の研究及び履修について『事前相談』を行ってください。

電話・E-mailでの相談も可能です。お気軽にお問い合わせください。

(参照:p. 14 領域の概要及び研究指導者連絡先)

#### ■身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談

障がい等を有する等、受験上及び就学上の配慮を要する場合は、出願前に必ず本学入試広報室にご連絡ください。

なお、この相談が合否判定に影響することは一切ありません。

相談の時期：出願期間最終日の2週間前まで

# 出願資格審査

## 1. 出願資格審査受付期間

出願資格9)により出願する場合は、出願資格審査期間内に「出願資格審査」を申請する必要があります。出願資格審査において本学が「出願資格あり」と認定した場合にのみ、出願することができます。

選抜時期	出願資格審査受付期間
1期	令和6年 8月 5日(月)～令和6年 8月 22日(木)
2期	令和6年 11月 1日(金)～令和6年 11月 8日(金)
3期	令和7年 1月 14日(火)～令和7年 1月 22日(水)

## 2. 出願資格審査の申請要件

下記①の要件を満たし、さらに②～④のいずれかに該当する者が出願資格審査の対象となります。

- ① 短期大学・専修学校又は各種学校を卒業し、看護師の資格を有し、3年以上の実務経験があること
- ② 研究業績（学術誌や専門誌等での論文掲載・学会発表等）を有している
- ③ 厚生労働省、看護協会、都道府県又はそれと同等の機関による研修を修了している
- ④ 認定看護師等の看護職に関わる資格を有している

## 3. 提出書類

	提出書類の種類
必須	出願資格審査申請書（様式6）※
	専修学校又は短期大学等の卒業証明書 （卒業証書又は学位記の写し（A4判）でも可）
上記②該当者	発表論文等の写し
上記③該当者	各機関が発行する研修修了の証明書の写し
上記④該当者	認定看護師等の証明書の写し

※ 本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。

## 4. 審査方法及び審査結果

提出された書類により審査を行い、結果は郵送で通知します。出願資格が認められた場合は、出願資格認定書を送付します。

## 5. 申請手続き

3の提出書類を一括して、本学入試広報室宛に郵送（簡易書留郵便又はレターパックプラス）、又は事務局窓口へ提出してください（封筒の表面に「出願資格審査書類」と朱書きしてください）。

- ※ 申請書類に不備がある場合は、受付後であっても、これを受理しません。
- ※ 提出した書類は、いかなる事由があっても返還しません。
- ※ 証明書等と現在の氏名や性別が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。

# 入学者選抜

## 1. 入学者選抜方法

入学者選抜は以下の方法で行い、合格者を決定します。

	小論文	専門科目	面接
一般選抜	100点	100点	100点
社会人選抜	100点	100点	100点
社会人特別選抜	100点		100点
推薦選抜	100点		100点

## 2. 試験日

選抜時期	試験日	試験会場
1期	令和6年 9月 28日(土) 9:00～	本学
2期	令和6年 12月 14日(土) 9:00～	
3期	令和7年 3月 1日(土) 9:00～	

※合格者の定員充足状況により、2期以降に募集しない分野・領域がある場合があります。  
その場合は、本学ホームページでお知らせします。

## 3. 選抜当日のタイムテーブル

時間	科目	
	一般選抜・社会人選抜	社会人特別選抜・推薦選抜
8:40 ～ 9:00	オリエンテーション	オリエンテーション
9:00 ～ 10:00	小論文	小論文
10:30 ～ 11:30	専門科目	面接
11:45 ～	面接	

# 合格発表・入学手続

## 1. 合格発表

選抜時期	合格発表日時
1期	令和6年10月4日(金) 10:00
2期	令和6年12月19日(木) 10:00
3期	令和7年3月6日(木) 10:00

合格者には合格通知書を送付します。

本学ホームページでも合格者の受験番号を確認できますが、合格通知書をもって正式な合格の通知とします。

※ 本学での掲示発表は行いません。

※ 電話等による合否結果に関する問い合わせには、一切応じません。

## 2. 入学手続

合格者には合格通知書とともに入学手続要項を送付します。確認のうえ、以下の学納金納入期限までに入学金及び前期学納金を払い込み、入学手続要項にしたがって入学手続きを済ませてください。

選抜時期	学納金納入期限
1期	令和6年10月11日(金)
2期	令和6年12月26日(木)
3期	令和7年3月13日(木)

※ 入学手続期限までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

※ 一度納付した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

# 学納金の納入

## 1. 学納金

区 分	1年次		2年次	
	前期 (入学手続時納入)	後期	前期	後期
入 学 金	150,000円			
授 業 料	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
合 計	650,000円	500,000円	500,000円	500,000円
2年間合計	2,150,000円			

### 長期履修（3年間）の場合の学納金

区 分	1年次		2年次		3年次	
	前期 (入学手続時納入)	後期	前期	後期	前期	後期
入 学 金	150,000円					
授 業 料	280,000円	280,000円	280,000円	280,000円	240,000円	240,000円
教育充実費	70,000円	70,000円	70,000円	70,000円	60,000円	60,000円
合 計	500,000円	350,000円	350,000円	350,000円	300,000円	300,000円
3年間合計	2,150,000円					

※ 入学後に長期履修を申請し、許可を得た場合は、後期学納金納入時に学納金を調整します。

## 2. 学納金に関する留意事項

### 1) 実験実習費について

がん看護専門看護師認定審査受験資格を取得する場合には、実習等にかかる経費が追加で必要となります。

### 2) 入学金の免除について

以下の場合については、入学金の全額又は半額を免除します。

- ・本学学部生が卒業後直ちに大学院を志願する場合：入学金全額免除
- ・本学園の卒業生が大学院に入学する場合：入学金半額免除

(大雄会一宮看護専門学校、愛知さわみ看護短期大学、一宮研伸大学)

※本学園の卒業を確認できる証明書等 (p.7 出願書類④参照) を、出願時に提出してください。

# 領域の概要及び研究指導者連絡先

TEL:0586-28-8110

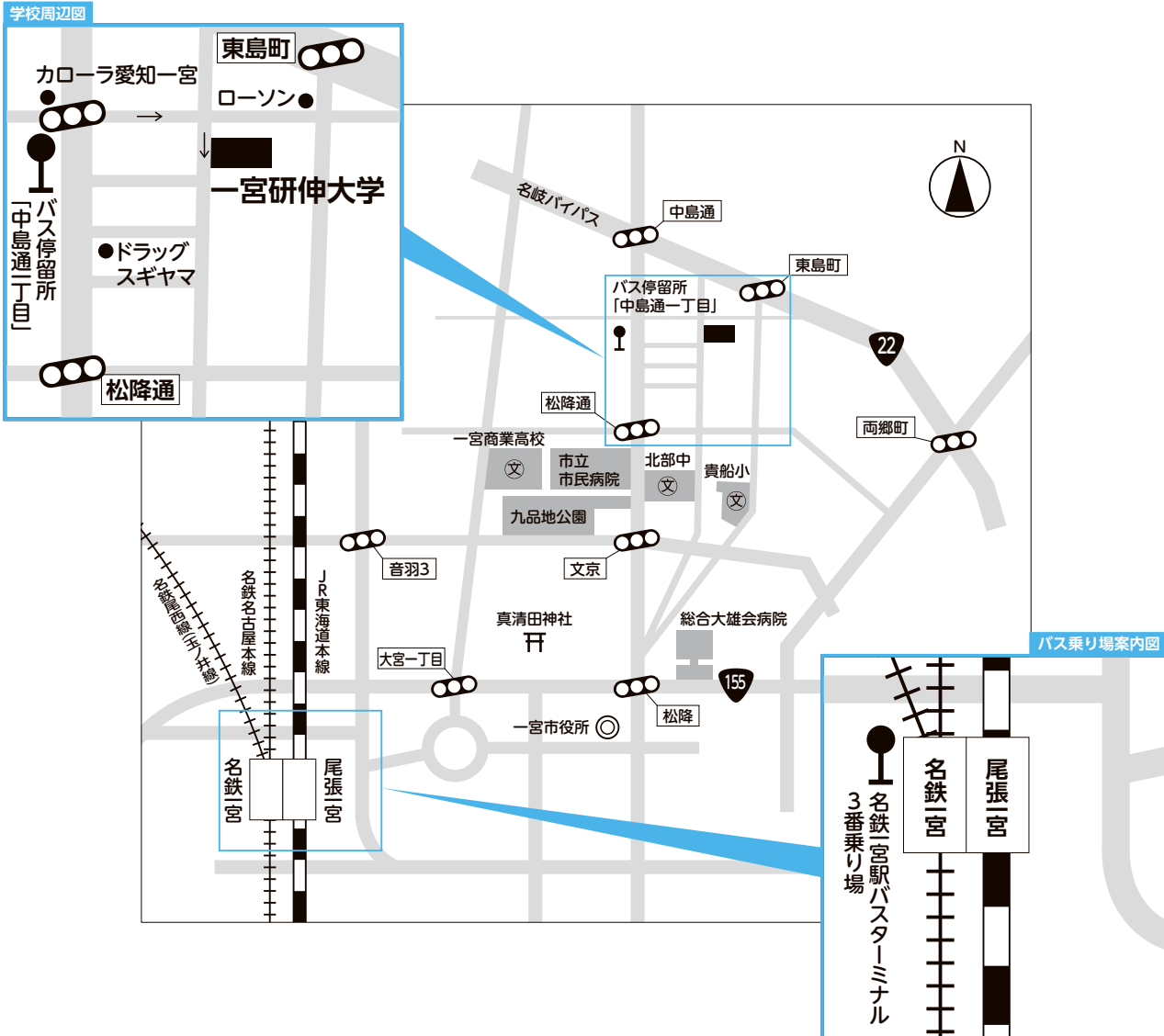
分野	専攻領域	領域の説明	研究指導者連絡先	主な研究テーマ
地域創成ケアシステム	看護 マネジメント学 (認定看護管理者 の受験取得可能)	組織の構築、他組織と連携・協働するための看護理念の具現化の探求、及び人材フロアのマネジメントと労働環境について考察し、地域とともに価値を創成する組織の在り方を探究する。	大久保 清子 k.okubo.t@ikc.ac.jp	地域創成に必要なケアシステムのマネジメント及び組織変革や人材育成・リーダーシップに関する研究
			【メッセージ】 組織や臨床において、どう取り組み変革すると活性化するのか。どう人材を育成していくのか等。多くの知識を吸収し、さまざまな疑問を明らかにすることで、モチベーションとレベルアップをはかりましょう。	
			鈴江 智恵 t.suzue.t@ikc.ac.jp	看護マネジメントや看護職のキャリア発達支援に関する研究
			【メッセージ】 看護職のそれぞれが力を発揮して、現場でいきいきと働くことができるためにどんな工夫があるのか、実践の場で活かせるよう共に考え、学びあいましょう。	
地域創成ケアシステム	看護科学 (看護師養成所専任教員資格取得に必要な科目の履修が可能)	主に、①卓越した看護アシスタントの技術開発、②科学的・論理的根拠に基づく看護ケアに関する教育プログラムの開発・検証等について探求する。	藤本 悦子 e.fujimoto.t@ikc.ac.jp	看護技術に関する検証及びケア開発に向けた研究。リンパ浮腫、血圧変動に関する研究。
			【メッセージ】 臨床の場で疑問に思ったことを一緒に解決しましょう。温罨法と冷罨法とどっちがいい?といった素朴な疑問からの研究を歓迎します。研究では解剖生理学をはじめ学際的な手法を活用することを指導します。	
			石井 成郎 n.ishii.t@ikc.ac.jp	看護におけるインストラクショナルデザイン、教育・学習成果の評価やICTを活用した学修支援に関する研究
			【メッセージ】 科学的根拠に基づいた効果的な教育の実現に向けて、教育方法やその評価方法を実践的に学修します。研究を通して、病院や学校などの教育場面に役立つ知識・スキルを身につけていきましょう。	
地域生活創成看護	次世代育成看護学	主に①性と生殖に関わる保健、周産期の家族の健康、親子・家族関係の支援における課題、②子どもと子を産み育てる家族のもつ主要な健康問題等について、有効な看護支援方法論を探究する。	小島 徳子 t.kojima.t@ikc.ac.jp	周産期にある女性とその家族の支援に関する研究、乳汁分泌促進への支援に関する研究、助産学教育・実習に関する研究
			【メッセージ】 クリティカルシンキングを養い、鍛えるために論文抄読を行います。多角的に捉える視点を持ち、『そんな思考もあったのか!』と周囲を驚かせるアイデアを、ともに創り出していきましょう。	



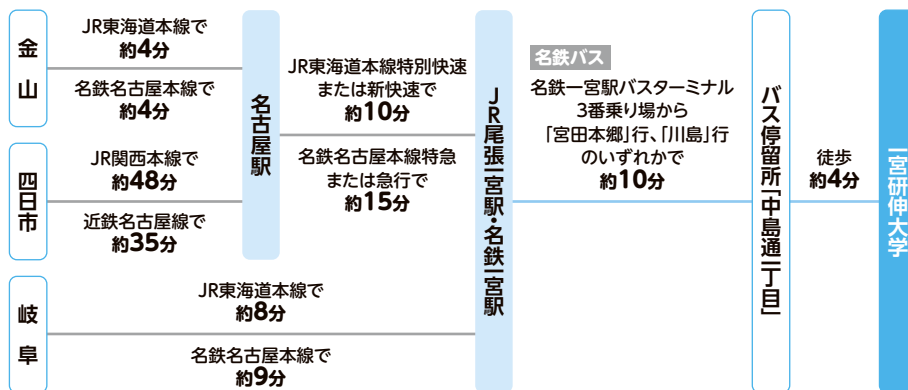
分野	専攻領域	領域の説明	研究指導者連絡先	主な研究テーマ
地域生活創成看護	急性・療養生活支援看護学	クリティカルケアを必要とする患者と家族への看護を探究する。	小倉 久美子 k.ogura.t@ikc.ac.jp	周手術期看護・救急看護・クリティカルケア看護に関する研究, ICU マネジメントに関する研究
			【メッセージ】 急性・重症患者の回復を促す看護実践や生命の危機状況にある患者とその家族の意思決定支援に関する実践、ICU マネジメント・周手術期看護の課題を一緒にリサーチしていきましょう。	
		慢性の健康課題を有する人と家族への療養生活支援の在り方や必要な看護、課題について探究する。	増永 悦子 e.masunaga.t@ikc.ac.jp	慢性の健康課題（がんを含む慢性疾患）をもつ人と家族の看護に関する研究、慢性期看護における教育に関する研究
			【メッセージ】 慢性の健康課題をもつ人への日々の看護実践（病院、地域、在宅等）の中で、忘れ難い患者さんやご家族との看護場面や、疑問に思ったこと等を、研究を通して一緒に考えていきたいと思えます。	
	メンタルヘルス支援看護学	地域に暮らす認知症高齢者と家族へのケアマネジメントのあり方、及びメンタルヘルスに問題を抱える人を支援するためのヘルスケアシステムの現状や地域特有の課題を探究する。	榎原 久孝 h.sakakibara.t@ikc.ac.jp	健康生活支援に関する疫学調査研究、地域包括ケアシステム構築に関する研究
			【メッセージ】 看護現場のデータ解析や質問紙調査など疫学調査研究に従事してきました。相談歓迎です。課題の改善に向けて一緒に考えていきましょう。	
			野村 千文 c.nomura.t@ikc.ac.jp	高齢者及び認知症高齢者とその家族・介護者への地域におけるケアシステム開発に関する研究
			【メッセージ】 学際的な知見をもとに高齢者への理解を深め、健康寿命の延伸や認知症予防の観点から、当事者ならびに家族へのケアシステムのあり方について一緒に探究しましょう。	
			大谷 恵 m.otani.t@ikc.ac.jp	精神看護学教育・技術に関連した研究、メンタルヘルス支援を要する患者とその家族を対象とした実践的介入研究
			【メッセージ】 人がその人らしく生きていくために、心の健康は重要です。人の心や行動に目を向けながら、精神障害をもつ人やご家族への支援、さまざまな場で生活する人々の心の健康について一緒に考えていきましょう。	
	がん療養生活支援看護学 専門看護師育成 (がん看護 CNS)	がん治療を受けている患者とその家族への包括的支援のあり方を探究する。また、緩和ケアにおける様々なアプローチ方法の課題を探究する。	安藤 詳子 s.ando.t@ikc.ac.jp	がん患者と家族・がんサバイバーへの支援に関する研究、がん医療に携わる看護職の実践や教育に関する研究
			【メッセージ】 治療選択と意思決定支援、がん治療における支援、症状マネジメント、トータルペインとアプローチ、家族ケアなど、実践の中で抱く疑問や課題を研ぎましょ。また、是非、がん看護 CNS に挑戦しましょう。	
下平 唯子 y.shimodaira.t@ikc.ac.jp			がん患者・家族やクリティカル状況下にある患者・家族への支援に関する研究	
【メッセージ】 もし、あなたががんになったら、あるいはその家族になったら、どんな体験をするのでしょうか？ 病いとともに生活するその体験的世界を理解し、支援のあり方を一緒に考えましょ。				

※ 研究指導内容は上記テーマに限ったものではありません。

# 試験会場のご案内



## アクセス



---

**【郵送・提出窓口及び問い合わせ先】**

住 所 〒 491-0063  
愛知県一宮市常願通五丁目 4 番 1  
一宮研伸大学 入試広報室

電 話 0586-28-8110

E-mail nyushi@ikc.ac.jp

窓口時間 9:00-16:00 (土日祝・創立記念日 12月 1日を除く)

---